

メッセージ

6月15日から学校の通常授業が再開されました。振り返りますと3月2日からの休校、4月7日の国の緊急事態宣言の発出など、私たちの生活が大きく変化した3か月間でした。

授業やクラブ活動が中止され、友人や先生との交流が少なくなるなど、今まで経験したことのない生活に不安がつり、辛い思いやストレスを感じた方も多かったと思います。八尾市長として長期間に渡る危機に立ち向かう中、皆さんのことを思うと大変心が痛む毎日でした。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、日本だけではなく世界的な緊急事態となりました。この危機について皆さん一人ひとりが正しく理解し、感染拡大の防止に協力してくれたからこそ、今回、学校を再開することができました。本当にありがとうございます。皆さんを支えていただいたご家族や先生たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。

感染拡大の危機を乗り越え学校は再開することとなりました。しかし、新型コロナウイルス感染症は終息したわけではありません。これからも皆さんご自身や、ご家族や友人などの大切な人を守るために、手洗いの徹底、マスクの着用、人と人との距離を保つことなど、感染拡大防止への協力をお願いします。私たちは、皆さんが安心して学校生活を送ることができるよう、惜しみない努力を続けます。

今から10年前の2010年6月、小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還しました。小さな力で驚異的な持久力を発揮するマイクロ波型イオンエンジンで7年間・60億キロを飛行。世界で初めて月以外の天体(小惑星イトカワ)に離着陸した画期的なエンジンを開発した國中均さんは、先の見えない辛く苦しい開発を振り返り、こんな発言をされています。

「ゆっくりでも、止まらなければ、けっこう進む。」

少しずつでも、あきらめずに前進することの大切さを教えてくれています。

皆さんには困難に打ち勝っていく力があります。皆さんには大きな可能性があります。いつの日か、今回の危機を振り返った時、大きく前進し成長したご自身をきっと実感すると思います。

どうかこれからも一步一步力強く前に進んでください。

私も皆さんと一緒に歩みを進めます。そして、皆さんが健やかで逞しく成長されることを心から願っています。

令和2年6月15日

八尾市長

大松桂右